資料－１

令和８年度　第２回荒川水系
渇水調整協議会（秋季定例会）

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



浦山ダムと秩父さくら湖（令和８年１１月２日撮影）

令和８年１１月５日

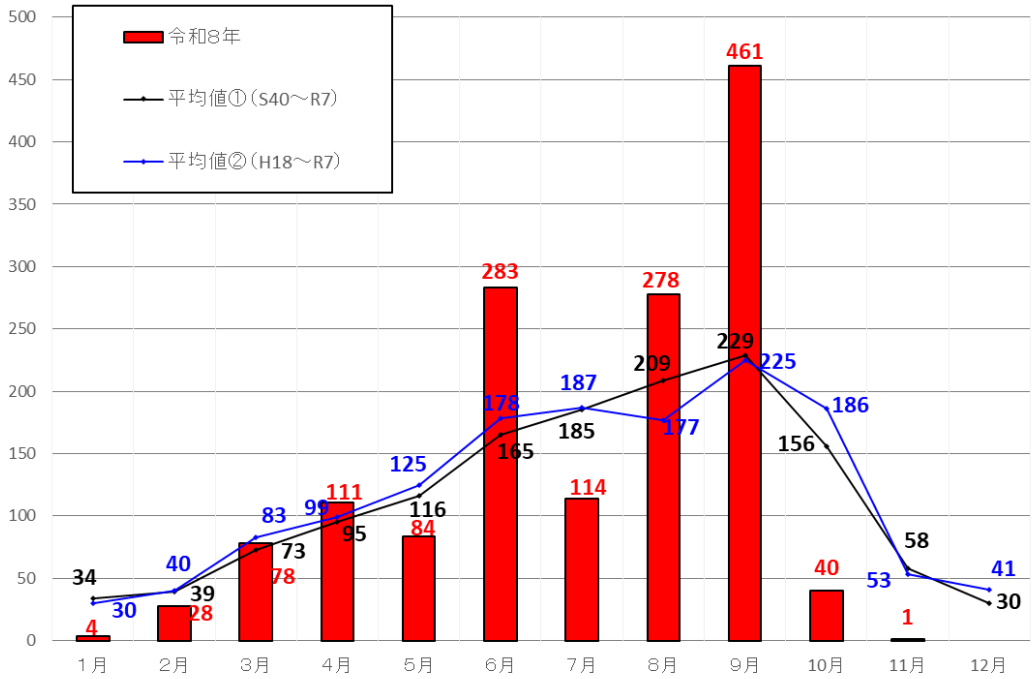
関 東 地 方 整 備 局

１．荒川４ダム等の現状

１）秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和８年 11 月４日０時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における降水量は、１月から５月までは平均値（昭和 40 年～令和７年の 61 年間の平均）を大きく上回る降雨はありませんでしたが、台風等の降雨による影響により、６月は平均値の 172%(283 ㎜)、９月は平均値の 201%(461 ㎜) と平均値を大きく上回る降水量となりました。

（図－1、表－1 参照）



図－1　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）

表－1　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年 11 月４日０時まで）単位：㎜

単位(㎜)	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
平成２６年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	－
平成２７年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	－
平成２８年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	－
平成２９年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	－
平成３０年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312	－
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	－
令和２年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	－
令和３年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366	－
令和４年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361	－
令和５年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110	－
令和６年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	65	2	1,464	－
令和７年	18	7	131	121	191	107	138	48	190	78	5	18	1,052	－
平均値①(S40～R7)	34	39	73	95	116	165	185	209	229	156	58	30	1,389	－
平均値②(H18～R7)	30	40	83	99	125	178	187	177	225	186	53	41	1,424	-
令和８年	4	28	78	111	84	283	114	278	461	40	1		1,482	－
平均値①に対する割合	12%	72%	107%	117%	72%	172%	62%	133%	201%	26%	2%		107%	－

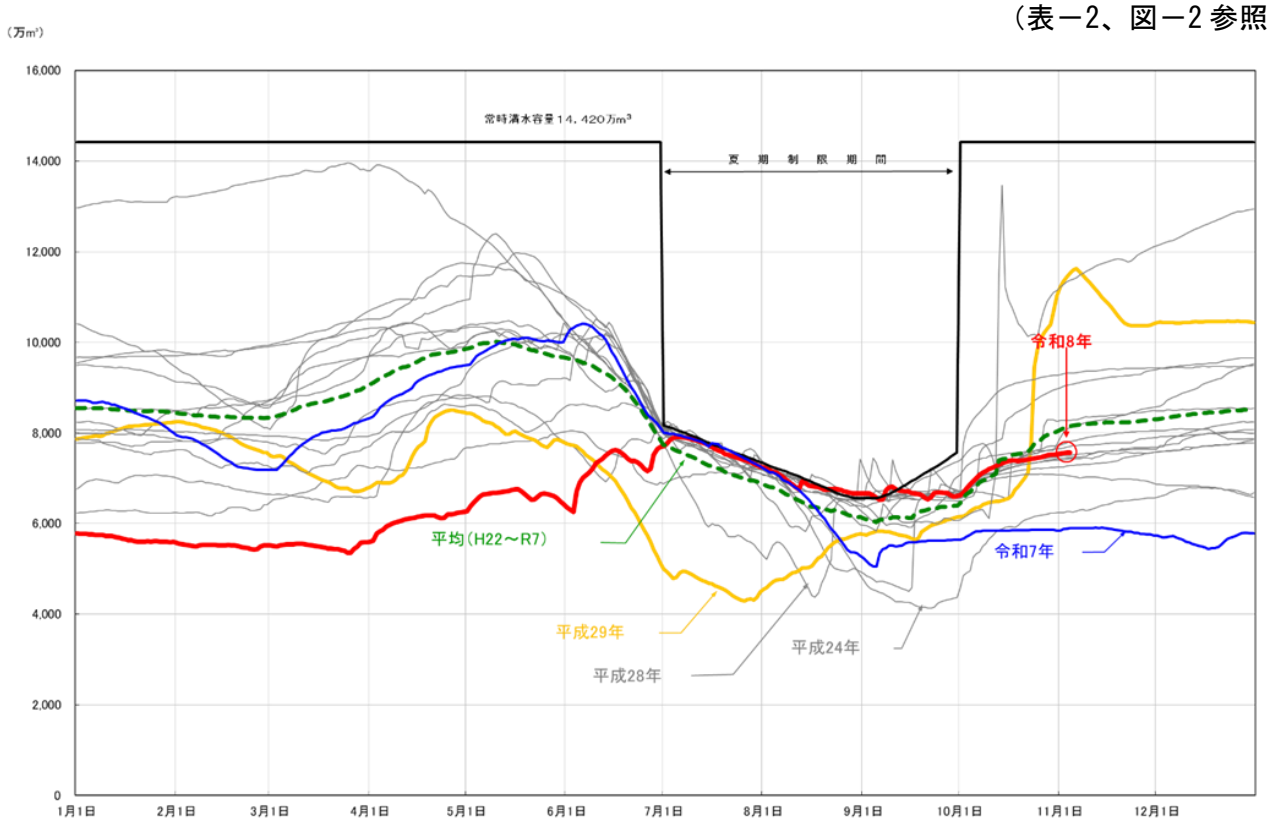
注）平均値①はデータが存在する期間（61ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）荒川４ダムの貯水状況等（令和８年 11 月４日０時現在）

荒川４ダムの合計貯水量は、６月まで平均値を下回って推移しましたが、７月から 10 月中旬までは台風等の降雨による影響により、貯水量は平均値以上または同程度の水準で推移しました。その後、10 月の少雨によって、貯水量は平均値以下で推移するようになり、令和８年 11 月４日現在の合計貯水量は、7,567 万 m3（貯水率約 52%）となっています。

（表－2、図－2 参照）



図－2　荒川４ダム貯水量図（令和８年 11 月４日０時現在）

表－2　荒川４ダム貯水量（令和８年 11 月４日０時現在）

ダム名	有効容量（万m3）	貯水量（万m3）	貯水率（%）
二瀬ダム	2,000	66	3
滝沢ダム	5,800	2,917	50
浦山ダム	5,600	3,579	64
荒川貯水池	1,020	1,005	99
４ダム合計	14,420	7,567	52
４ダム合計の平均値（平成22年～令和７年）		8,148	（平均値に対して93%）

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

２．今後の見通し

気象予報

令和 8 年 10 月 29 日気象庁発表の関東甲信地方の 1 か月予報(令和 8 年 10 月 31 日から令和 8 年 11 月 30 日までの見通し)によると、向こう 1 か月の気温は「高い」の確率が 50% 、降水量は「多い」の確率が 40%となっています。また、令和 8 年 10 月 20 日気象庁発表の 3 か月予報(令和 8 年 11 月から令和 9 年 1 月までの見通し)によると、向こう 3 か月の気温は「高い」の確率が 60% 、降水量は「多い」の確率が 50%となっています。

なお、令和 8 年 9 月 18 日気象庁発表の寒候期予報（12 月～2 月までの天候の見通し）によると、関東甲信越地方の今冬は、気温が「高い」の確率が 60% 、降水量が「多い」の確率が 50%となっています。

1 か月予報（令和 8 年 10 月 29 日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	向こう１か月 10/31～11/30	10	40	50
		１週目 10/31～11/06	10	40	50
		２週目 11/07～11/13	20	40	40
		３～４週目 11/14～11/27	10	30	60
降水量	関東甲信地方	向こう１か月 10/31～11/30	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう１か月 10/31～11/30	40	40	20

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

3 か月予報（令和 8 年 10 月 20 日発表）

気温、降水量の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	11月～01月	10	30	60
		11月	10	30	60
		12月	20	30	50
		01月	20	30	50
降水量	関東甲信地方	11月～01月	20	30	50
		11月	20	30	50
		12月	20	30	50
		01月	20	30	50
降水量	北陸地方	11月～01月	30	30	40
		11月	30	30	40
		12月	30	30	40
		01月	30	30	40

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

寒候期予報（令和 8 年 9 月 18 日発表）

気温、降水量の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	冬 12月～02月	10	30	60
降水量	関東甲信地方	冬 12月～02月	20	30	50
降水量	北陸地方	冬 12月～02月	30	30	40
降雪量	北陸地方	冬 12月～02月	50	30	20

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

３．今後の対応

- 今後は、荒川流域の降水状況や都市用水の水利用を十分考慮し、工事に伴う貯留制限による利水容量への影響を最小限にするよう努めるとともに、既存施設等を広域的かつ効果的に活用してきめ細かな運用を行っていきます。

- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。